

御前崎小学校 海洋体験学習

平成 29 年 07 月 23 日

- 日 付：平成 29 年 7 月 18 日（火）
- 時 間：8：30～14：30
- 場 所：マリパーク御前崎
- 参加者：御前崎小学校 4 年生（児童 39 名、教員 3 名 計 42 名）
- スタッフ：松下、川口、鷺坂、小野田、伊村

今年度も御前崎市内の小学校を対象に海洋体験学習を行いました。今年度は各小学校が主体となり、活動内容を共に考え、活動を行います。

御前崎小学校は、5 年生で学校独自に行うウミガメの学習につなげるよう、4 年生を対象に総合学習の一環として『海を感じ、海を学ぶ』というテーマの基、年度内で 2 回の活動を行います。



御前崎小学校の活動として 1 回目となる今回の活動では、『海を感じる』ことを目的に、海の楽しさ、面白さ、不思議さを感じてもらえるよう活動を行います。

また、日本大学海洋学部水産資源学科で准教授をされている長谷川勝治先生が見学に来て下さいました。



ガイダンスを行ったあとは、今回活動を行う海岸の清掃を行いました。海開きした直後ということもありパッと見はとてもキレイな海岸でしたが、実際に海岸を歩いてみると砂に埋もれて小さなビニールゴミや流木がたくさん落ちていました。海で安全に過ごすために、子ども達はみんな真剣にビーチクリーンをしていました。今回拾うことができたゴミの多さに、子ども達もビックリした様子でした。



午前中は、ビック SUP の活動を行います。ライフジャケットをしっかりと着用し、まずは水慣れの為に海へ。ライフジャケットを着ていることで、ちゃんと身体が浮くことを確認しました。

その後、各クラス2グループに分かれ、ローテーションで活動を行います。1つの大きなボードに8~10人が乗り込み、全員で力を合わせて漕ぎ進めます。初めて行う子も、一生懸命練習を行っていました。午前中の最後には、グループごとにレースを行います。



子ども達は、あっという間に上手に漕ぐことができるようになりました。順番を待っている間はレースに向け、グループのみんなで「どうしてもっと早く漕ぐことができるようになるか？」など、作戦会議や陸上でのパドル練習を行いました。作戦会議を行う子ども達の様子も、真剣そのものです。「負けたくない」という気持ちを感じられました。



練習を終え、しっかりと休憩を取ったあとはレース本番です。午前中最後の活動となるレースに向け、レースガイダンスを行いました。説明を聞く子ども達は、とても真剣でした。

グループに分かれ、いよいよレーススタートです。子ども達からは、「絶対に負けない」という強い気持ちを感じられました。



1 本目のレースを終え、次のレースに挑む子ども達は、円陣を組み気合の声掛けを行っていました。ビック SUP という競技を通し、子ども達はグループワークを行い、仲間同士で力を合わせる事の大切さを学ぶことができました。結果は、各クラス1勝1敗の引き分けという結果になりましたが、子ども達は、勝負の結果以上のことを学ぶことができていたように感じます。



午前の活動を終え、お弁当を食べ、しっかりと休憩を取った後は、スノーケリングの活動を行いました。

初めてスノーケリングを行う子どもも多いため、基本となるマスクの使い方や泳ぎ方、水中の観察方法のレクチャーを受けました。



基本を学んだ後は、バディ同士で泳ぎの練習を行いました。バディと離れすぎたしまわない様、前・横・水中と常に頭を動かし、広く周囲の観察をすることの大切さを感じてもらいました。

練習後は、実際に水中の生きもの観察を行いました。堤防沿いを順番に進み水中を観察すると、多くの魚やカニを観察することができました。



当日の海はとても透明度が高く、スノーケリングを行うにはとてもベストな海況でした。初めてスノーケリングを行う子ども達も、生きものを見付けると興奮した様子で楽しく活動を行っていました。



水中では、この様な魚を観察することができました。
メジナやニザダイの幼魚の群れやホウライヒメジ、カゴカキダイなどを観察することができました。



今回のスノーケリングでは、子ども達全員が魚を観察することができ、スノーケリングの楽しさを体感してもらうことができました。

1日を通して海の楽しさ、面白さ、不思議さを体感した子ども達はとても満足をした様子で、みんなに楽しんでもらうことができました。今回感じた『海』への気持ちを持ち、2学期の活動につなげていきます。2学期の活動では御前崎の海岸線を歩き、『御前崎の海の現状』について体験的に学習をしていきます。

